

製品リスク評価は、LRQAのサプライチェーンにおけるESGリスク評価ポートフォリオの一部であり、400以上の製品・サービスの評価を含みます。この格付けは、サプライチェーンのESG残存リスクの顕在化や傾向について、投資家や企業に対して、より深く、網羅的な情報を提供することを目的としています。

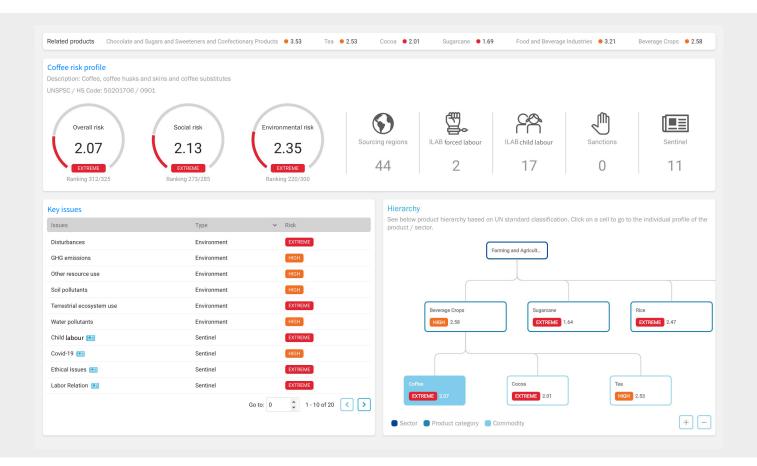
製品リスク評価とは?

製品リスク評価は、製品の生産時またはサービスの提供時に内在する社会的および環境的リスクに基づいています。この格付けは、製品の生産時またはサービスの提供時の労働基準、安全衛生条件に関連するリスクを反映しています。環境に関わる格付けは、土地、水の生態系、温室効果ガス/非温室効果ガスの排出、土壌、水、汚染など、環境への影響に関する問題を反映しています。

この格付けは、LRQAのサプライチェーンESGインテリジェンス・プラットフォーム(EiQ)で提供され、20の分野にわたる400以上の製品とサービスを対象としています。これには、総合リスク評価、社会的評価、環境的評価が含まれます。

製品リスク評価は、(1) 机上調査による一般に入手可能なデータ、(2) LRQA 監査による業界別のデータ、(3) EiQ センチネルを介して追跡された政府による制裁措置や発売差し控え命令データ、ネガティブメディアによるインシデントの3つの主要なデータソースに基づいて作成されます。

この格付けは、製品・サービスに関連する社会的および環境的側面に基づいています。図では、2つの側面で取り上げられている主要な問題と、総合的な評価がどのように形成されているかを示しています。





情報源



監査データ

LRQA は、グローバル・サプライチェーン全体で年間 20.000 件以上の社会・環境に関する監査を実施しています。監査デー タは各国、産業、州レベルで標準化され、集計されます。



公開データ

LRQA は、多国間組織や NGO の公開データを活用し、監査で 特定の違反(強制労働など)の証拠を得る可能性が低い場合や、 サンプル数が少ない国におけるリスク情報を補完します。



EiQ センチネルデータ

LRQA は、監査や公開データから得られるリスク情報を補完す るために、ウェブ上のデータポイント(ニュースや公開記録な ど)を活用します。すべてのウェブデータポイントは、検索エ ンジン、専門ウェブサイト、制裁リストなどから収集した企業、 製品、国レベルのリスク情報を示しています。

適用範囲

400+

製品レベルで のリスク評価 90+

サービス

90+

セクター

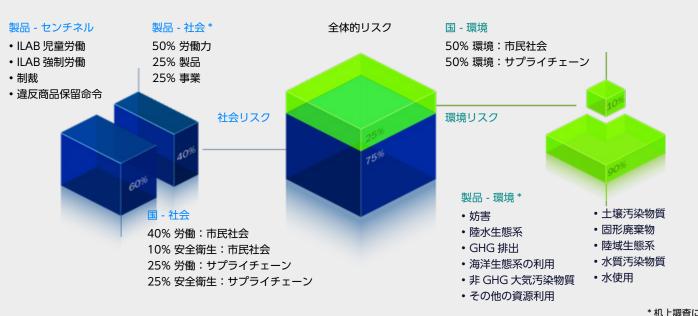
使用事例

投資家および企業は、製品リスク評価を以下のように利用 することができます。

- セクター別のリスクと潜在的な強制労働の兆候の特定
- 高リスクのホットスポットを特定し、積極的な介入とリスク軽減を実施
- ポートフォリオの見直しとエンゲージメント戦略の強化
- LRQA の責任ある調達プログラム
- サプライチェーンにおけるその他の主要調達国の特定

測定方法

製品リスク評価では、製品の生産時やサービスの提供時に内在する社会的 および環境的リスクに基づく分析が示されます。



* 机上調査に基づく

なぜ LRQA のデータなのか?

LRQA のサプライチェーン ESG リスク格付けは、強化されたより強固なデー タから作成され、企業が新たなデューデリジェンスの期待に沿い、サプライ チェーン ESG のベストプラクティスの基準を設定することを支援します。

LRQA は、監査、労働者の声、e ラーニングから得られる包括的な現場情報を、 ネガティブメディアの洞察とともに活用することで、業界標準とは一線を画 し、総合的なリスク値を算出しています。

お問い合わせ

詳細については、https://www.lrqa.com/ja-jp/をご覧ください。



LRQA リミテッド **T 220-6010** 横浜市西区みなとみらい 2-3-1 クイーンズタワー A10 階



本書に示すすべての情報が正確かつ最新であるように、LRQA リミテッドでは細心の注意を払っています。ただし、情報の 不正確さや変更について当社は一切の責任を負いません。 LRQA は、LRQA Group Limited およびその子会社の商号です。 詳細については www.lrga.com/entities をご参照ください。© LRQA Group Limited 2024







